

まちなかを歩く日 2013

中京マチビトCafé
～取組のその後～

姉小路通で路上アート！ “歩くまち絵巻”を作成

毎年11月に開催される
「まちなかを歩く日」で、
40mの白布を姉小路通に敷き、
絵やメッセージを描くイベントを開催

谷口 親平 さん
「姉小路界限を考える会」事務局長



2013年11/16(土) 14時～
@姉小路通(柳馬場～富小路)

姉小路通の柳馬場～富小路間の路面に広げられたのは、
幅90cm・長さ40mの白布。
休日は地域外からの自動車で混雑する同区間もこの日は
通行止めとなり、「歩くまち絵巻」作成会場に早変わり。

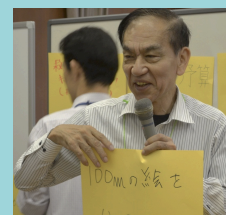


姉小路通をイメージしたデザインを施したオリジナル風
呂敷の染め抜きを行うとともに、参加者が自由に絵やメ
ッセージを描き、ステキな“歩くまち絵巻”が完成しまし
た。



取組んでみてのご感想

恒例の“まちなかを歩く日”が始まって10年目。毎秋、姉小路の一部区間を自動車通行止にして、行灯を並べる等、手作りイベントを続けています。このたびは京都外国語大学大南先生たちのご協力で、道に絵を描いたり、姉小路風呂敷をつくりました。歩くことが楽しい道、そして美しい道、そんな“姉小路絵巻”を皆で実感した1日でした。



谷口 親平 さん

連絡先：090-6205-6835 HP：<http://www.aneyakouji.jp/> (京都市中京区姉小路界限を考える会)